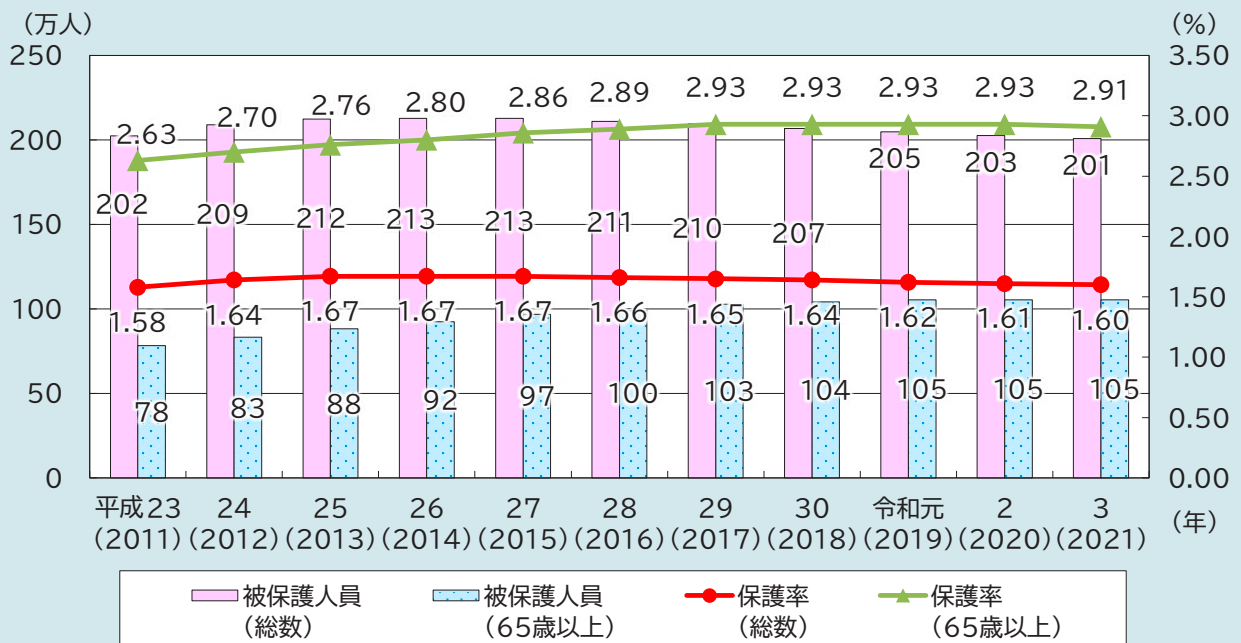


(4) 65歳以上の生活保護受給者の人数（被保護人員）はほぼ横ばい

生活保護受給者の人数の推移を見ると、令和3年における被保護人員数の総数は前年から減少した一方、65歳以上の生活保護受給者は105

万人で、前年と比べて横ばいになっている。また、65歳以上人口に占める生活保護受給者の割合は2.91%で、前年と比べてほぼ横ばいとなっている（図1-2-1-8）。

図1-2-1-8 被保護人員の推移



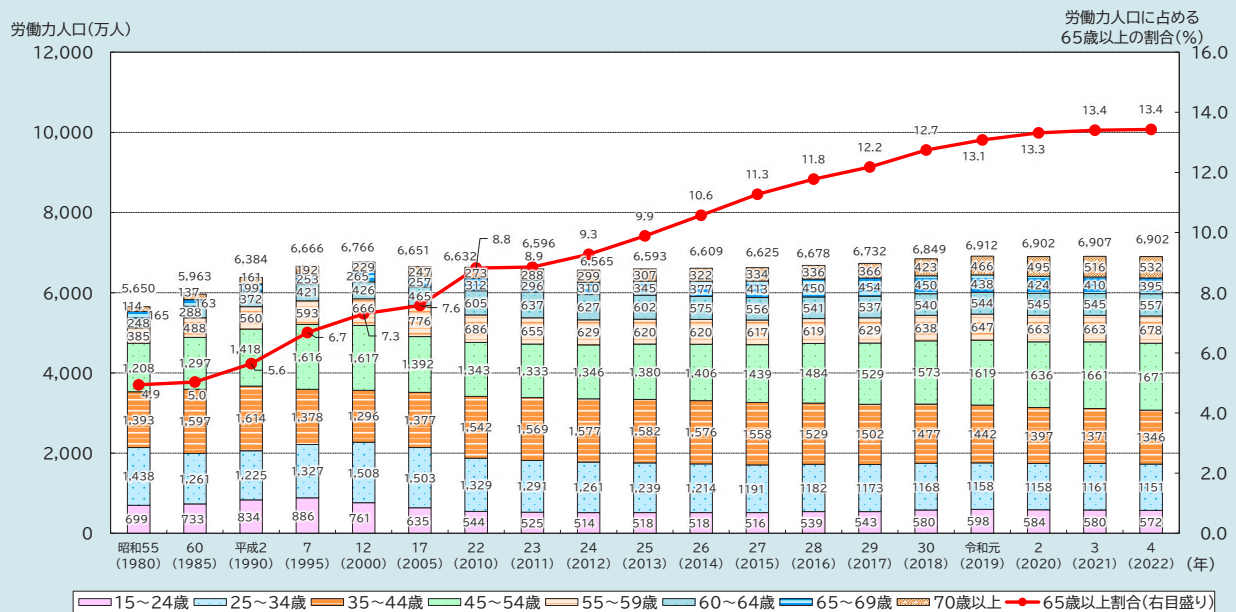
資料：厚生労働省「被保護者調査 年次調査」

(5) 労働力人口に占める65歳以上の者の比率は上昇

令和4年の労働力人口は、6,902万人であった。労働力人口のうち65～69歳の者は395万

人、70歳以上の者は532万人であり、労働力人口総数に占める65歳以上の者の割合は13.4%と長期的には上昇傾向にある（図1-2-1-9）。

図1-2-1-9 労働力人口の推移



資料：総務省「労働力調査」

(注1) 年平均の値

(注2) 「労働力人口」とは、15歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせたものをいう。

(注3) 平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。